

ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム
平成 29 年度第四回企画運営委員会議事概要 (案)

【日時】 2017 年 9 月 7 日 (木) 12 時 05 分から 13 時 10 分

【場所】 情報科学 C 棟 401 室

【出席 (敬称略)】 清水 (委員長・情)、尾上 (情)、藤原 (情)、井上 (情)

増澤 (情)、若宮 (情)、松下 (情)、難波 (生)、平岡 (生)、細田耕 (基)

細田一 (情)、石井 (生)、中村 (基)、中野 (生)、EUM (情)、楊 (情)

【事務局】 松岡 (情/事務長)、鐘ヶ江 (情/大学院係長)、徳野 (情/部門事務局長)、

岡本 (情/部門事務)、井汲 (情/部門事務)、森田 (生/部門事務)、上田 (情/部門事務)

【欠席 (敬称略)】 谷田 (情)、村田 (情)、原 (情)、大澤 (生)、八木健 (生) 柳田 (生)

藤田 (生)、近藤 (生)、石黒 (基)、宮崎 (基)、松岡 (サイバー)、

【事務局】 古市 (情/部門事務)、

配布資料

HWIP ホームページ教員用ページにアップします。(パスワード: HWinnovation)

議題

(1) 教務委員会 (資料あり)

○教務活動の進捗について説明があった。すべての年次についてのカリキュラムが順調に進んでいる。

○審査など

① 学生アドバイザーについて

企業担当者からいろいろな質問等があったので、来年度はルールを作っておそれらに対応する旨の発言があった。

② 最終試験について

資料を基に協議の結果、1名の早期修了を承認した。

なお、本修了生のケースを参考にして、来年 1 月 23 日の公聴会の運営方法を検討する旨の発言があった。

また、委員から修了時の資料として、修了要件のデータをチェックできるリストを作成してはどうかとの提案があり、種々意見交換の結果、今後は参考として当該のリストを作成することとし、今回の早期修了者についてのリストは次回の本委員会での参考資料とすることとした。

一期生に対しての来年 3 月における修了の可否、修了後の進路についてのアンケート調査の現時点 (途中経過) での結果について報告があった。

続いて、本アンケート回答者から寄せられた質問をもとに作成した「最終試験に関する Q&A」の 2 つの項目について協議を行い、以下のとおり決定した。

Q1.について

修了要件を満たす時期は、原則 HW 公聴会の 10 日ほど前までとする。

また、修了時期は 9 月と 3 月の年 2 回を原則とする。例外については、その都度諮る。

Q4. について

生命機能研究科履修生に係る選択肢は原案のとおり 3 つとする。

(2) リーディング大学院選抜委員会

○報告事項等特になし。

(3) 海外連携委員会（資料あり）

○現時点での今年度海外派遣状況について報告があった。

なお、短期派遣については、8 月下旬から履修生から 2 度目の申請を受け付けている旨の報告があった。

○海外研修について、資料に基づき報告があった。

また、既に参加学生が決定している旨の発言があった。

(4) 産学官連携委員会（資料あり）

○インターンシップの未履修者について、修了要件とも関連して報告があった。

(5) 広報企画委員会（資料なし）

○10 月 20 日、21 日開催のリーディングフォーラムの準備が整った旨の報告があった。

また、その開催に合わせて卓越大学院に関する説明会が開催される旨の発言があった。

○今年度も学振が作成するリーディングのパンフレットに掲載する情報を提供した旨の報告があった。

○3 部門で開催する合同説明会について報告があった。

○履修生の紹介ホームページについて、三期生のうち 9 名分がもうすぐできあがる旨の報告があった。

(6) その他

○卓越大学院プログラム第 2 次エントリーについて(清水教授 資料あり)

・学内説明会 (8/28) の概要について次のとおり説明があった。

- ① 提出の主体は研究科になると思われる。
- ② リーディングの後継と考えられるので、中間評価で高評価のものは積極的に応募して欲しい。
- ③ 最後は定着の仕方となる。産学連携を軸に考える。
- ④ 学位プログラムとして設計する。
- ⑤ 5年一貫は重要だが、社会人を受け入れるために柔軟性も大事である。産業界と一緒に考えて考える。
- ⑥ 1月に公募要領が出るが、事後評価が終わってからエントリーするのが適切かと考える。
- ⑦ たくさん申請して、たくさん取りたい。

清水教授から、3研究科を中心に考えていきたいと思うので、お力添えをいただきたいとの発言があった。

○事後評価について(清水教授 資料なし)

- ・WGをつくった旨の報告があった。

なお、構成員は清水教授、増澤教授、若宮教授、原教授、細田特任准教授、首藤助教（増澤研究室）。

- ・履修生に対するアンケートをコンサルティング会社に依頼する予定である旨の報告があった。

なお、アンケートの原案ができた時点で、本委員会で承認をいただく旨の発言があった。

○北米研修について

- ・海外連携委員会で報告済み。

○英語教育の進捗状況について（オム特任准教授 資料あり）

- ・一般英語説明会、TOEIC の Workshop 参加について、TOEIC クラス、2017Young Leadership Workshop、について報告があった。

次回：10月5日(木) 12:00-13:00 情報科学研究科 C棟4階 C401